

## 見どころ案内

「さくらマップ2019」  
正面入口で配布中

### 展示会のご案内

◇展示資料館 1F (4/6~5/6)

おし花美術作品展

◇展示温室 (3/9~4/17)

ゼラニウム展

### ミツマタ (ジンチョウゲ科)

中国原産の落葉低木で、枝が三つに分かれることからこの名があります。樹皮に丈夫な繊維があり、古くから和紙の原料とされ、特に高額紙幣に使われます。

### イベリス・センペルビレンス (アブラナ科)

別名トキワズナ。アカネ科のフーストニア・カエルレアもトキワズナと呼ばれ、よく混同されます。白いかわいらしい花を多数咲かせています。イベリスの名はイベリア半島に多く自生していることに因みます。

### カランコエ (ベンケイソウ科)

マダガスカル原産の着生種ユニフローラなど貴重な野生種が咲いています。

### 花の進化園

春の定番のチューリップのほか、ヒヤシンス、スノーフレークなどの草本植物やチョウセンレンギョウ、ユキヤナギ、コブシの仲間など木本植物にも多くの花が咲いています。

### 熱帯果物

カカオやマンゴー、パパイヤ、バナナなどのなじみのある果物のほか、タマゴノキやジャボチカバ、サポジラ、レンブなどあまりなじみのない果物にも実が付いています。スロープデッキから間近に果実を觀賞することができます。

### ザイフリボク (バラ科)

満開のサクラに目を奪われがちですが、こちらも負けずに白い花を多数咲かせています。

### オキナグサ (キンポウゲ科)

日当たりのよい草原に生える多年草です。全草が白い毛に覆われています。

### ハナノキ (カエデ科)

ハナノキは日本固有の落葉高木で、東海地方(長野・岐阜・愛知)にのみ分布する珍しい樹木です。ハナカエデとも呼ばれ、展葉に先立って咲く紅色の花は花飾りを連想させます。今年は果実がたくさんついています。近くでは、フサアカシアも咲いています。

### ソメイヨシノ (バラ科)

サクラと言えば定番のサクラです。現在満開です。上方にはベニシダレ、足元にはコバノミツバツツジも咲いていますので、そのコントラストもお楽しみいただけます。芝生広場にかかる階段付近ではサトウソメイが満開です。

### 香りの小径

淡いブルーの星形の花を咲かせるハナニラ、ブドウの房のような形で濃いブルーのムスカリ、黄花のスイセン、白いベル型の花に緑のブロッヂが入るスノーフレークなど、春を彩る球根植物の競演をご覧ください。

東側の斜面には、レンギョウの仲間やミツマタ、アカバナミツマタも咲いて華やかです。

